

(議事概要)

第2回徳島県観光スポーツ文化庁指定管理候補者選定委員会
〈あすたむらんど徳島〉

日時: 令和7年11月6日(木) 9時00分～9時40分

場所: 県庁3階 第四応接室

株式会社ネオビエント 提案説明

質疑応答

(委員等)

毎年やってるイベントについては、大きな変化はないって認識でよろしいんですか？

(申請者)

主な大型のイベントにつきましては自主事業の項目で挙げさせていただいたが、そのほかの教育事業だったり、公園でやっている事業につきましては、令和7年度など、従来やってきたことをブラッシュアップして開催します。

(委員等)

財務のことで、売上が横ばいより若干減るぐらいですが、経常利益は若干上がってるが、どういう意味合いで捉えたらいいんですか。

(申請者)

今回、外部監査の結果を受けまして、間接経費として計上していない部分がある。

(委員等)

あすたむらんどって屋外が多くて、夏場に子供を連れていくときは注意がいるんですけど、広い園内での熱中症対策として、何かあった時に、素早く対応いただけるようにどのような工夫をされていますか？

(申請者)

熱中症対策、ご指摘の通り、厳しいものがありますが、私たち職員それぞれが熱中症に素早く対応できるように勉強しており、応急処置の道具も園内の複数箇所に配置し、研修を行うなどの対応をしております。それから、看護師も常駐で来てもらっており、看護師との連携も速やかに行っております。また、応急でお出しできる飲料や冷却材なども準備して対応にあたっているところです。

(委員等)

この11月からペットが同伴可能になったということで、犬や猫を飼っている方にとっては、より親しみやすい園になるかと思ってるんですけど、子供さんが利用することが多くて、触れ合い方によってはトラブルが起きる可能性もあるかなと思ってるんですけど、例えばペット可能エリ

アを分けるとか、ペットの種類によって制限をかけるとか、そこらへんはどういうふうにお考え
なんでしょうか？

(申請者)

今、ご指摘いただいたところは、所管されますにぎわい政策課さんとも、導入に当たって協議
させていただいている。今は試行的に、インターロッキング部分のみに制限し、エリア分けを
行っているところですが、今後、皆様の生の声で、見直しも必要になってくるかと思いますの
で、引き続き担当課様のほうにご相談しながら、できるところから進めていきたい。今は、職員
の目の届かない部分には入らないようなルートを設定している。

(委員等)

外部の指定管理だとか、公共施設の運営をよくやってる会社さんだと思うんですけど、指定
管理って期限があるもので、その後のことを会社の中でどのように考えて運営されてるのか。

(申請者)

弊社は指定管理事業から立ち上げた会社です。そもそも指定管理は、今おっしゃられたよう
に有期限のもので、普通に考えれば、契約社員で継続していくってことが会社とし
ての経営から言うと、正しいのかもわかりません。ただ、施設運営において、モチベーションで
あるとか職員の生活を保証するっていう意味では、やはり正規採用っていうような形で、途中
から変えたわけです。今も異動できるような形で事業を広げてはおります。職員の意向によっ
て別の施設に弊社から出向であったりとかサポートできるように準備はしております。

(委員等)

学校とかが遠足利用することはあると思うんですが、それ以外で、例えば授業の一環で学校
と連携して行うような企画とか、そういう使い方はどのぐらい利用されてるのか。

(申請者)

科学館では、女子中高生向け進路選択支援プログラムを助成金を受けて実施しており、各学
校さんに訪問させていただいて、理系の進路を選択された社員であったり、大学の先生に來
ていただいたりして、なぜ理系を選んだのかという、生の声を子どもたちに話していただくとい
うきっかけを提供しています。単にキャリアについてお話するだけではなく、科学について、
より楽しく興味を持っていただくために、普段あすたむらんどで低学年向けに行っている科学
サイエンスショーを、あえて中高生に対して、学校で実施しています。すると学校の先生も驚
かれるぐらい盛り上がるんですね。楽しい雰囲気になりまして、アンケートの結果でも、理系
について自分は苦手だからそっちの道には進まないと考えてたけれども、得意苦手ではなく
て好きか嫌い、やりたい仕事に向けて、理系について考えるきっかけになったというアンケ
ート結果もいただいております。学校との連携について模索している中でして、各中学校や高
校に営業訪問で伺いまして、科学館と学校がどのように連携できるかを一緒に話し合いなが
ら進めているところではあります。問題点としては、各学校の先生が非常に忙しい中でござい
ますので、我々がこういうプログラムを提供をしようとしても、お忙しいためなかなか取り入れ
ていただけないという課題もありますので、我々としては学校の先生の負担がなるべく少なく

なるようにしながらも、社会教育施設としての科学館のあるべき姿として、学校との連携は進めていきたい。

（委員等）

あすたむらんどについて周りの人に聞いたところ、みんな何回も行ってるし、本当に県民の身近な場所として、日曜日に子供を連れてどっかって言ったら、あすたむらんどが正解っていう感じのお話を聞きました。先月日曜日に行ってきましたが、すごい数の方が、天気もよかったんでお見えになられてて、こういうサービスにありがちなんだけど、土日と平日の来館数の差ってすごいですよね。それから季節、夏休み、スタッフの皆さんはそうした就業体制ってどのようにしてらっしゃるのでしょうか。

（申請者）

基本的には決めた時間の中でフレキシブルに、早く勤務するいわゆる早出と遅出とを組んで、たとえば12月のイルミネーションの時期ですと9時30分から開園して21時まで開いておりますので、時差出勤での対応を行っているところです。それから、繁忙期、閑散期ございますので、繁忙期はお互い譲り合って、週休2日なり契約している日数で、シフトを組んで、対応しています。瞬間的な閑散期ございますけれども、有給を消化したりだとか、お互いワークライフバランスを考えながら、一緒に働くパートナーとして、共に歩みよって対応しているところです。

（委員等）

キャンプ TENT を張ってらっしゃる方、あんまり案内とか水場とか整備されてはなかったと思うんですけど、そういった使い方もあるんだなって感じたのと、もう一つが、行く道が分かりにくかった。駐車場どう停めてっていう案内板が、割と何回も行ったら慣れるんですけど、県外から来た場合とかインバウンドの方が来た場合とか考えて、そこに着くまでの案内をもう少し充実してもいいのではないかなと思いました。